

Contents

1 運営の基本方針	1
2 概 要	
1 組 織	1
2 沿 革	2
3 建設概要	3
4 施設概要	3
5 施設配置図	5
3 平成29年度事業体系	6
4 平成29年度主な事業計画	
1 人材育成	7
2 調査研究と市町村・公民館支援	8
3 学習情報の積極的な発信	8
4 「学び・交流の場」としての機能充実	9
5 科学教育の推進	9
5 平成28年度事業実績	
1 開所20周年を契機に社会教育の可能性を発信	10
2 人材育成	10
3 地域課題等解決の取組のための調査研究と 市町村・公民館支援	12
4 学習情報の積極的な発信	13
5 「学び・交流の場」としての機能充実	13
6 科学教育の推進	14
7 施設設備の利用状況	15
8 生涯学習情報提供システム（ばるネット岡山）	15
9 学習相談件数	16
10 視聴覚コーナー	16
11 視聴覚教材コーナー	16
12 図書・ブラウジングコーナー	16
6 関係条例及び規則	
岡山県生涯学習センター条例	17
岡山県生涯学習センター条例施行規則	19
施設等利用料金表	20

1 運営の基本方針

岡山県生涯学習センターは、県民の生涯にわたる学習活動の振興を図るため、県の拠点施設として、「第2次岡山県教育振興基本計画」等を踏まえ、市町村や関係機関などとの連携を図りながら、次の事項を重点として運営する。

特に、持続可能な地域づくり、つながりづくりを目指し、生涯学習指導者等の地域人材の育成、調査研究・情報発信などの機能強化に努めるとともに、「少・壮・老」の三世代の県民が、仲間（ばる）として、楽しく学習や交流ができるゾーン（「三学ばる岡山」）づくりを進める。

平成29年度取組の重点

① 地域の課題解決の中核となる人材を育成し、ネットワークづくりを進める。

- ◇地域課題に対する講座の企画・立案から実践までできる人材の養成
- ◇地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりを行う統括・中核コーディネーターの養成
- ◇社会教育関係団体等との交流・連携の推進

② まちづくりの拠点となる公民館活動を支援する。

- ◇多様な主体と連携した公民館活動活性化の取組
- ◇E S Dの観点に立った公民館活動の県下への普及と館長等公民館職員の資質能力の向上
- ◇地域の課題解決や諸事業のコンサルティングによる市町村支援

③ 若者の社会参画を推進する。

- ◇地域の中で若者支援に関わっていく人材の養成
- ◇若者が主体的に地域づくりに取り組める力を育て、つながりづくりを支援

④ 県民の学習を支援するための生涯学習情報を積極的に発信する。

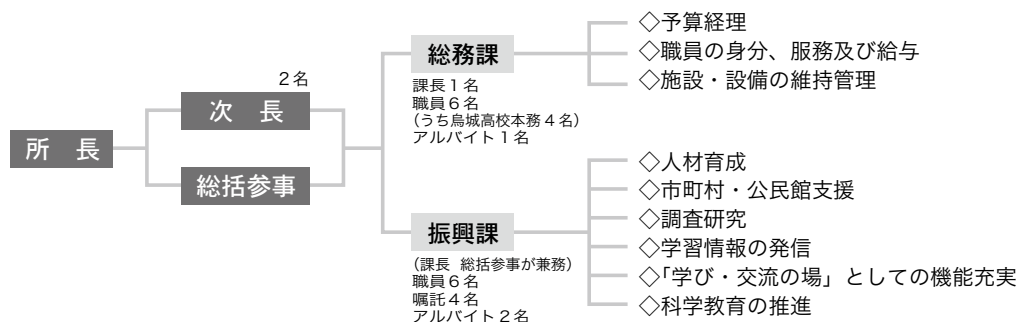
- ◇生涯学習情報提供システムの更新及び情報提供の精選
- ◇学習成果の発表機会の充実
- ◇生涯学習・社会教育に関する課題等の調査研究とその成果の普及

⑤ 科学教育を推進する。

- ◇人と科学の未来館サイピアの運営支援（指定管理者事業実施）
- ◇J A X Aとの連携

2 概要

1 組織



2 沿 革

- 平成2年1月 中央教育審議会が文部大臣に対し「生涯学習の基盤整備について」を答申。
この中で、地域の生涯学習を推進するための中心機関となる「生涯学習推進センター」について、都道府県が設置することが適当である旨を答申した。
- 平成3年4月 第4次岡山県総合福祉計画の中で、学習情報の提供、学習相談、指導者の養成等を行う生涯学習推進センターの必要性及び単位制高等学校の整備を進めることが述べられた。
- 平成4年3月 岡山県生涯学習推進会議が、「岡山県における生涯学習推進の基本的な考え方」についての意見具申の中で、県の生涯学習推進の中核施設である「生涯学習推進センター」の早急な整備を求めた。
- 平成5年3月 岡山県立短期大学跡地に、生涯学習推進センター（仮称）と単位制に改編する県立烏城高等学校を一体的に整備する「生涯学習推進センター（仮称）整備基本構想」策定
- 平成6年3月 「岡山県立短期大学跡地整備基本計画」策定
12月 「岡山県立烏城高等学校・生涯学習推進センター（仮称）基本設計」完了
- 平成7年3月 「岡山県立烏城高等学校・生涯学習推進センター（仮称）実施設計」完了
11月 建設工事着工
- 平成8年12月 岡山県生涯学習センター竣工
12月 12月議会において「岡山県生涯学習センター設置条例」制定
- 平成9年1月 同条例施行、機関設置
2月 岡山県生涯学習センターオープン記念式
2月 岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」稼働
5月 岡山県生涯学習大学「のびのびキャンパス岡山」開設
- 平成10年2月 「県立烏城高等学校・県生涯学習センターの一体的運営に関する委員会」発足
10月 岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」が岡山情報ハイウェイに接続され、インターネット上で情報提供開始
- 平成12年6月 岡山県公民館連合会事務局を県教育庁生涯学習課から移管
- 平成12年度 文部省委嘱事業「生涯学習ボランティア推進フォーラム」、「キャリア開発学習情報提供推進事業」実施
11月 岡山県生涯学習推進中核施設連絡協議会を設立
- 平成13年3月 国庫補助「情報技術学習環境整備事業」によりパソコン教室2を整備
- 平成14年2月 岡山県生涯学習センター開所5周年記念事業を実施
3月 岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」を更新
4月 「おかやま長寿学園」を「岡山県生涯学習大学」に統合
6月 岡山県公民館連合会発足50周年に伴う記念事業を実施
7月 岡山県体験活動ボランティア活動支援センターを設置
- 平成17年4月 生涯学習・社会教育担当者向けの研修をリニューアル
- 平成18年3月 岡山県生涯学習推進施設中核施設連絡協議会を解散
11月 「まなびピア岡山2007」プレフェスティバルを開所10周年記念事業と兼ねて開催
- 平成19年2月 岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」を更新
4月 施設設備の維持管理業務及び施設等の利用許可業務等一部の業務に指定管理者制度を導入
11月 「まなびピア岡山2007in三学ばる岡山」を開催
- 平成20年11月 池田動物園、県立児童会館、岡山県生涯学習センターで連携し「京山キッズゾーン」を立ち上げ、「第1回京山祭」を開催
11月 「おかやま学びフェスタ2008」を開催
- 平成21年4月 情報課を振興課に統合し新しく振興課とする。
- 平成23年3月 県立児童会館閉館
- 平成23年9月 「岡山県生涯学習センター未来科学棟（仮称）整備基本計画」策定
- 平成24年4月 「岡山県生涯学習センター運営協議会」設置
- 平成24年5月 「岡山県生涯学習センター未来科学棟（仮称）専門委員会」設置
（のちに「岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア専門委員会」に名称変更）
- 平成24年6月 岡山県生涯学習センター未来科学棟（仮称）建設工事着手
- 平成24年10月 新施設の名称が「人と科学の未来館サイピア」に決定
- 平成25年3月 岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア竣工
- 平成25年4月 施設設備の維持管理業務及び施設等の利用許可業務等の一部の業務に、人と科学の未来館サイピア及び児童遊園地の運営業務、喫茶棟の利用促進業務を加えて指定管理業務を開始
岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア開館
- 平成26年4月 岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア 入館者10万人達成
- 平成27年2月 岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア 入館者20万人達成
- 平成27年7月 岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア 入館者25万人達成
- 平成28年度 岡山県生涯学習センター開所20周年記念事業を実施（11月・2月）

3 建設概要

敷地面積 45,010㎡

建築面積 7,566㎡

延床面積 14,320㎡

構造規模

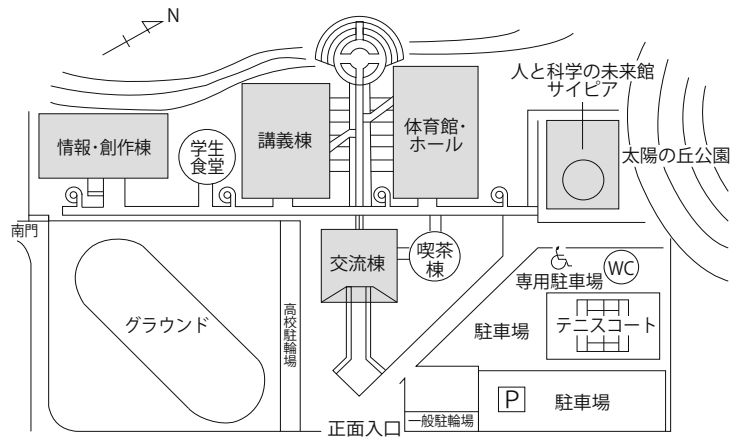
交流棟／鉄筋コンクリート造2階建 学生食堂／鉄筋コンクリート造平屋建
 情報・創作棟／鉄筋コンクリート造5階建 喫茶棟／鉄骨造平屋建
 講義棟／鉄筋コンクリート造5階建 公衆便所／鉄筋コンクリート造平屋建
 体育館／鉄筋コンクリート造2階建
 人と科学の未来館サイピア／鉄筋コンクリート造2階建
 駐車場／鉄骨造、アスファルト・芝生舗装

4 施設概要

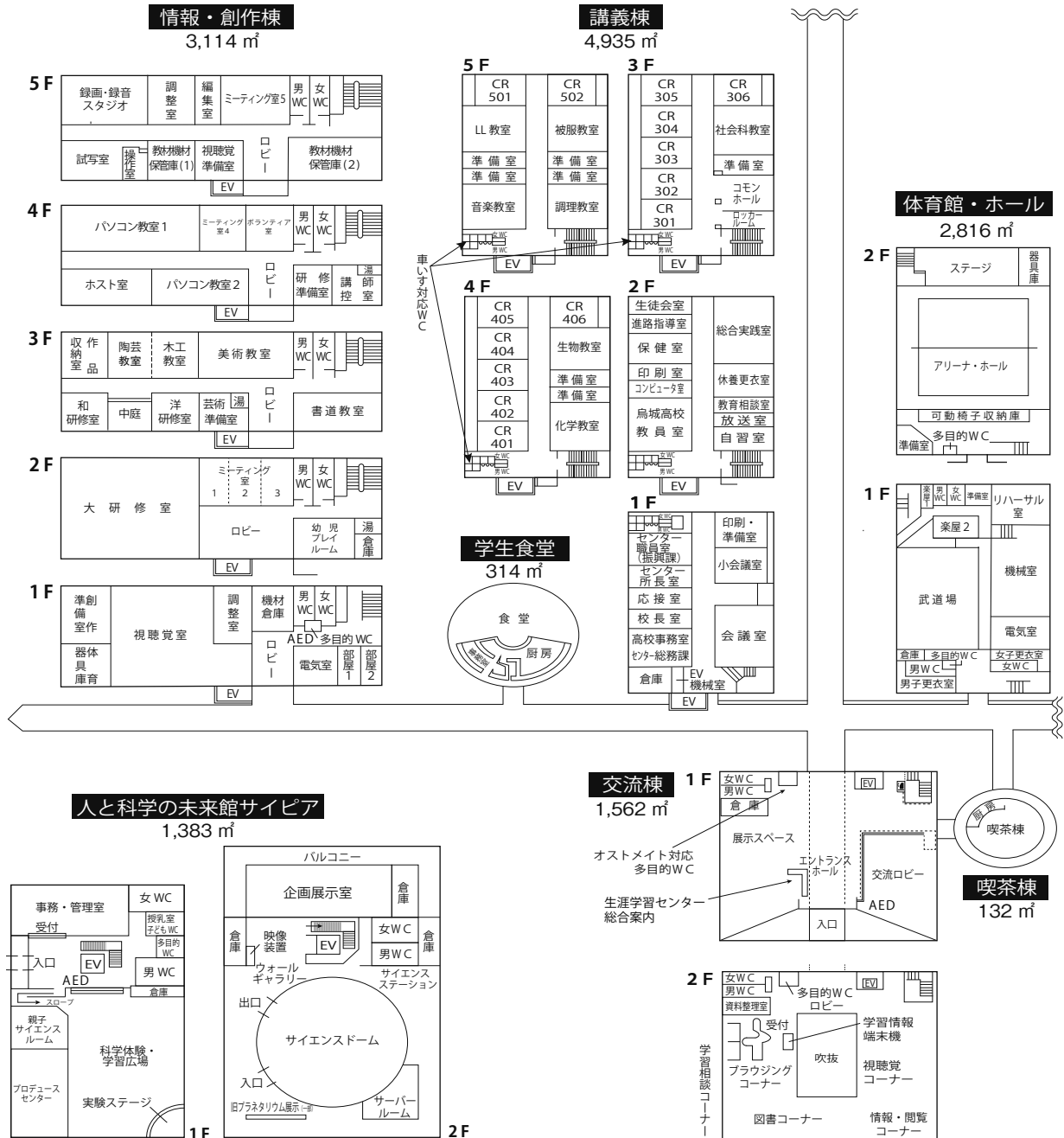
建物	階別	室名	面積	定員	主要設備内容	
情報・創作棟	1階	視聴覚室	261㎡	72人	ハイビジョン対応のプロジェクター、その他各種映像再生機器	
	2階	大研修室	261㎡	150人	液晶プロジェクター、簡易ステージ、DVDビデオデッキ、演台、ホワイトボード、スクリーン	
		ミーティング室1	28㎡	18人	ホワイトボード	
		ミーティング室2	22㎡	12人	ホワイトボード	
		ミーティング室3	28㎡	18人	ホワイトボード	
		幼児プレイルーム	50㎡	—	幼児用絵本、おもちゃ、ビデオ付テレビ等	
	3階	和研修室	33㎡	—	茶道用道具（有料）	
		洋研修室	33㎡	12人	—	
		陶芸教室	39㎡	24人	作業台、電動ろくろ等陶芸工具	
		木工教室	39㎡	8人	卓上糸鋸盤等木工具	
		美術教室	80㎡	35人	チャートハンガー、各種画材用具等、プロジェクションテレビ	
	4階	書道教室	66㎡	32人	チャートハンガー、プロジェクションテレビ	
		パソコン教室1	116㎡	40人	パソコン41台、カラープリンター	
		パソコン教室2	66㎡	20人	パソコン21台、スキャナ付プリンター	
		ボランティア室	40㎡	18人	ホワイトボード、スクリーン	
		ミーティング室4	40㎡	18人	ホワイトボード、スクリーン	
		ホスト室	66㎡	—	—	
	5階	講師控室	28㎡	—	—	
		録画・録音スタジオ	116㎡	—	ベータカムレコーダー等映像機器、デジタルミキサー等音声録音機器、グランドピアノ（有料）	
		編集室	21㎡	—	ビデオタイター、ビデオエディティングシステム、パソコン、Hi8・VHS・DV編集機等	
		ミーティング室5	58㎡	26人	ホワイトボード	
	講義棟	1階	試写室	66㎡	18人	プロジェクター、DVDプレーヤー、16ミリ映写機等
			校長室	40㎡	—	—
応接室			40㎡	—	—	
事務室			75㎡	—	（高校事務室、センター総務課）	
所長室			40㎡	—	—	
センター職員室			80㎡	—	（センター振興課）	
会議室			121㎡	63人	—	
小会議室			64㎡	32人	—	
印刷・準備室	64㎡	—	—			

建 物	階別	室 名	面積	定員	主 要 設 備 内 容
講 義 棟	2 階	教 員 室	160㎡	—	—
		コ ン ピ ュ ー タ 室	40㎡	—	—
		印 刷 室	40㎡	—	—
		保 健 室	66㎡	—	—
		進 路 指 導 室	54㎡	—	—
		生 徒 会 室	43㎡	—	—
		総 合 実 践 室	163㎡	—	パソコン 42台
		休 養 更 衣 室	80㎡	—	—
		教 育 相 談 室	40㎡	—	—
		放 送 室	40㎡	—	—
	自 習 室	80㎡	—	—	
	3 階	CR(クラスルーム)× 6	64㎡	40人	—
		社 会 科 教 室	120㎡	40人	ホワイトボード
		コ モ ン ホ ー ル	80㎡	—	自動販売機、洗面台
		ロ ッ カ ー ル ー ム	80㎡	—	—
	4 階	CR(クラスルーム)× 6	64㎡	40人	—
		生 物 教 室	120㎡	40人	—
		化 学 教 室	121㎡	40人	—
	5 階	CR(クラスルーム)× 2	64㎡	40人	—
		L L 教 室	120㎡	40人	LLシステム
音 楽 教 室		117㎡	40人	グランドピアノ、CD等音響機器	
被 服 教 室		121㎡	40人	—	
		調 理 教 室	120㎡	40人	—
交 流 棟	1 階	展 示 ス ペ ー ス	200㎡	—	生涯学習センター総合案内、展示パネル、展示ケース
		交 流 口 ビ ー	220㎡	80人	プロジェクションテレビ
	2 階	視 聴 覚 コ ー ナ ー	160㎡	—	DVD用ブース (8ブース)
		情 報 閲 覧 コ ー ナ ー	144㎡	—	—
		学 習 相 談 コ ー ナ ー	80㎡	—	生涯学習情報提供システム公開端末機 (2台)
		図書・ブラウジングコーナー	160㎡	—	—
体 育 館・ ホ ー ル	1 階	武 道 場	336㎡	—	—
		リ ハ ー サ ル 室	93㎡	—	—
		楽 屋 1	12㎡	—	洗面台、丸椅子、コートハンガー
	楽 屋 2	25㎡	—	洗面台、丸椅子、コートハンガー	
2 階	ア リ ー ナ	896㎡	500人	可動椅子500席 (有料)、各種音響・照明設備、プロジェクションテレビ、OHC	
学 生 食 堂	1 階		314㎡	220人	烏城高等学校専用
喫 茶 棟	1 階		132㎡	64人	(グリルばる)
グ ラ ウ ン ド			7,273㎡	—	夜間照明
テ ニ ス コ ー ト			1,254㎡	—	オムニコート 2面
駐 車 場		立 体 ・ 平 面	1,751㎡	—	普通車180台、大型バス 4台、身体障害者用 1台
		芝	976㎡	—	普通車29台、身体障害者用 3台
人 と 科 学 の 未 来 館 サイピア	1 階	科 学 体 験 ・ 学 習 広 場	237㎡	—	液晶プロジェクター、大型モニター、スクリーン他
		プ ロ デ ュ ー ス セ ン タ ー	70㎡	—	ホワイトボード他
		親 子 サ イ エ ン ス ル ー ム	33㎡	—	幼児用絵本、おもちゃ、各種遊具他
	2 階	企 画 展 示 室	101㎡	—	液晶プロジェクター、スクリーン他
サ イ エ ン ス ド ー ム		176㎡	132人	投影機他	

5 施設配置図



生涯学習センター・鳥城高等学校施設内配置図



3 平成29年度事業体系

人材育成

◇基礎研修	・初任者研修
◇実践型指導者養成	・【新】 みんな集まれ！社会教育宿泊研修 ・【新】 社会教育実践専門講座 ・親育ち応援学習リーダースキルアップ講座 ・県公民館連合会研修会 ・視聴覚ライブラリー担当者研修会
◇地域の中核的人材養成	・地域づくり人材養成セミナー （若者発！まちプロ、【新】若者と「つながる」事業） ・統括・中核コーディネーター養成講座

市町村・公民館支援

◇市町村支援	・生涯学習・社会教育よろず相談（市町村コンサルティング）
◇公民館活動の活性化	・【新】 公民館長研修会 ・公民館「地域のつながりづくり」実証プログラム

調査研究、学習情報の発信

◇調査研究	・【新】 家庭教育支援に関する調査研究
◇情報提供	・ばるネット岡山の更新と運営
◇生涯学習大学	・主催講座【新】「子どもの体験活動ボランティア」他 ・連携講座 ・生涯学習「受講生の集い」
◇学習相談	・相談業務の充実と広報
◇広報	・HP、FB等による発信
◇教材の活用と提供	・視聴覚教材、機材 ・16mmフィルムデジタル化事業 ・県視聴覚ライブラリー連絡協議会

「学び・交流の場」としての機能充実

◇発表、展示、体験、交流	・「京山祭」 ・社会教育関係団体交流の拠点 ・ボランティアの活動支援
◇生涯学習団体等への貸出	・情報創作棟（研修室、会議室）の活用 ・交流棟の活用（展示、発表）

科学教育の推進

◇サイピアの運営支援	・プラネタリウムプログラム ・科学実験教室 ・学校学習利用の促進（広報） ・企画展示
◇JAXA連携事業	・学校教育支援（授業支援、教職員研修） ・社会教育支援（宇宙の学校、宇宙教育リーダーセミナー）

4 平成29年度 主な事業計画

1 人材育成

事業名	主な内容	対象：定員	期間	予算	
生涯学習・社会教育関係職員研修講座 初任者研修	生涯学習・社会教育行政の推進に必要な基礎的な知識・技能の研修を行い、行政職員や生涯学習推進者としての資質の向上を図る。また、職員間のネットワークづくりを支援する。(第2回は、県北・県南の2会場で実施)	生涯学習・社会教育推進担当者で勤務年数が少ない方 基礎的な知識を学びたい方 等	4月～5月	221千円	
親育ち応援学習リーダースキルアップ講座	「親育ち応援学習リーダー養成講座」の修了生や「親育ち応援学習プログラム」を活用している家庭教育関係者が一堂に会して交流や情報交換を行うことで、ファシリテーターのスキル向上や「親プロ」活用に向けての各地域でのネットワークを構築する。また、今年度作成した追加プログラムを紹介し、活用を促進する。	平成23～28年度「親育ち応援学習リーダー養成講座」修了生、市町村家庭教育担当者、保健福祉関係者、家庭教育支援チーム員、「親育ち応援学習プログラム」活用に興味のある方 等	6月～10月	351千円	
岡山県公民館連合会研修会	公民館研究者等の講演や公民館における現代的課題についての研修を行い、職員や市町村公民館担当者の資質の向上を図る。	公民館職員、市町村教育委員会公民館担当者	5月～30年1月	県公連予算で対応	
視聴覚ライブラリー担当者研修会	視聴覚ライブラリーの運営上の諸問題を話し合い、視聴覚教育の一層の向上を目指す。	視聴覚ライブラリー職員	7月	県視連予算で対応	
地域づくり人材養成セミナー	若者発！まちプロ	地域活動に興味・関心をもつ県内大学生等を対象に、岡山県内の地域づくりの第一線で活躍している方とこころへインターンへ行き、PDCAサイクルを体験する実践型研修をとおして、自らの思いを社会の中で実現させる行動力や自主性を身につけ、それぞれの地域や学校で活躍する人材の育成を図る。	県内大学生等	5月～9月	498千円
	【新】若者と「つながる」事業	大学生や社会人(20～40歳ぐらい)を対象に、今若者がおかれている現状・課題についての理解を深めるとともに、若者との関わり方や大人の役割について考え、実際に高校生とかかわる活動を通して、これからも地域社会の中で、若者支援に携わったり、広めたりしていこうとする人材の育成を図る。	大学生や社会人(20～40歳ぐらい)等	9月～1月	
【新】社会教育実践専門講座	県内市町村の生涯学習・社会教育担当職員や公民館職員、関連する機関・団体の職員、ボランティア、NPO等を対象に、県の社会教育行政の当面する諸課題に対応し、事業や講座の企画・立案、人や情報のコーディネート、各種団体等との連携など、専門的な知識・技術に関する研修及び日常の業務に役立つ実践的な研修を行う。	生涯学習・社会教育担当職員、公民館職員、首長部局関係職員、社会教育施設職員、学校教育関係者、社会教育・生涯学習に関わるボランティア・NPO等	9月～12月	258千円	
【新】みんな集まれ！社会教育宿泊研修	おかやま子ども応援事業・中高生の出番づくり・就学前の子ども(親子)を対象にした講座づくり等の県が推進する施策に焦点をあて、1泊2日の宿泊研修を通して地域づくりに関わる広い範囲のネットワークづくりと資質向上を図る。	市町村行政担当者、公民館職員、地域おこし協力隊、社会教育委員、NPO関係者、企業CSR担当者等	9月	339千円	
統括・中核コーディネーター養成講座	○中学校区内を統括し、市町村教育委員会や学校・園の地域連携担当者との連携・協働のもと、地域の実情に応じて、中学校区内の学校支援、放課後・土曜日等支援、家庭教育支援等のコーディネーター同士の連絡調整を行ったり、コーディネーターへの助言・指導、未実施地域における「地域学校協働活動」の推進等を行う、中核コーディネーターを養成する。 ○中核コーディネーターに関する活動について、市町村担当者の理解と資質向上を図る。	市町村担当者(必須)と中核コーディネーター(中学校区を統括するコーディネーター)を目指している地域コーディネーター(市町村から推薦。人数指定なし)	5月～30年2月	223千円	

2 調査研究と市町村・公民館支援

事業名	主な内容	対象：定員	期間	予算
家庭教育支援に関する調査研究	家庭教育支援を推進するため、就学前の子ども（親子）を対象にした取組の好事例等に関する調査研究を実施する。	県内市町村、公民館、学校園、各種団体	年間	218千円
生涯学習・社会教育よろず相談	市町村の生涯学習・社会教育計画、各地域に応じた課題、諸事業などについて、大学関係者、県生涯学習センター社会教育主事（コンサルタント）等が、市町村教育委員会、公民館等に対するコンサルティングを行うことにより、より有効な生涯学習・社会教育推進体制の整備を図る。	県内市町村、公民館、学校、各種団体	年間	174千円
公民館「地域のつながりづくり」実証プログラム	地域の拠点である公民館が培ってきた「地域のつながりづくり」のノウハウを、先進的な取組を実施している公民館の具体的な活動を通じて実証することにより、公民館の重要性について世論喚起する。	公民館（3館）	5月～30年1月	県公連予算で対応
岡山県公民館連合会	県下の公民館等と連携し、ESDの観点に立った公民館活動の振興発展に寄与する。	公民館職員	随時	県公連予算で対応

3 学習情報の積極的な発信

事業名	主な内容	対象：定員	期間	予算
【新】生涯学習情報提供システムの更新事業	「ばるネット岡山」システムを更新し、学習情報提供の更なる充実を図る。		4月～30年2月	運営費で対応
生涯学習情報の収集・整理	コンピュータネットワークで提供する「講座・講演情報」「講師・ボランティア情報」等の更新と情報量の増加を図るとともに、分野によっては内容を精選し、広く広報を行う。		常時	運営費で対応
生涯学習大学	県の特性を生かした講座を開設するとともに、多様な学習講座を体系化し情報提供する。さらに、学習成果を評価することにより社会参加の促進を図る。 (主催講座) 生涯学習センターが主催する講座（3講座） (連携講座) 他の行政機関及び民間が主催する講座	県民一般 定員各30名 定員各講座ごと	年間	5,846千円
生涯学習「受講生の集い」	岡山県生涯学習大学の受講生に対し、証書の授与や学習成果発表の場を提供するとともに、記念講演会を開催し、本県における生涯学習の普及・啓発を図る。	受講生 県民一般	2月	
学習相談	学習相談員が面談、手紙、電話、ファクシミリ、電子メールで、生涯学習に関する相談に応じる。	県民一般	常時	運営費で対応
情報・図書資料の収集・整理	図書、逐次刊行物、新聞等を収集・整理し学習者に提供する。	県民一般	常時	運営費で対応
視聴覚コーナーの整備・運営	専用ブースで、郷土に関する映像や映画、アニメーション等を提供する。	県民一般	常時	運営費で対応
視聴覚教材・機材の整備・貸出	視聴覚教材や機材の整備・貸出等を行い、学習活動を支援する。	県内の団体	常時	1,445千円
視聴覚教育の普及・広報活動	視聴覚教育の指導者の養成に努めるとともに、16ミリ映写機利用セミナーを開催するなど、一般への視聴覚教育の普及を図る。 視聴覚教材目録を作成し、視聴覚教材の利用促進を図る。	教材利用団体	随時	運営費で対応
16ミリフィルムデジタル化事業	郷土岡山を紹介する貴重な16ミリフィルムの映像をデジタル化し、広く県民に公開するとともに、後世に映像資料として伝える。			運営費で対応
岡山県視聴覚ライブラリー連絡協議会	県下の視聴覚ライブラリーとの連携を図り、視聴覚教育の推進を図る。	視聴覚ライブラリー職員	随時	県視連予算で対応
センターだより（情報誌）等の発行	センターの事業等を紹介するために、要覧、リーフレット、情報誌等を作成し、関係機関等に配布する。	県民一般 関係機関	要覧 年1回 情報誌 年2回 リーフレット 随時	運営費で対応

4 「学び・交流の場」としての機能充実

事業名	主な内容	対象：定員	期間	予算
京山祭	生涯学習センターの施設の一部を開放し、体験や遊びのコーナーを設け、家族や仲間とのふれあいや交流の場を提供する。	県民一般	6月・12月	互助助成事業予算で対応
発表・展示・交流	展示スペース、交流ロビー等を生涯学習の成果の発表の場として提供する。	生涯学習関連団体 県民一般	随時	運営費で対応
施設ボランティア活動の促進	自己実現及び社会参加を目的に、自発的、自主的なボランティアとしての活動を促し、生涯学習センター、人と科学の未来館サイピアの運営機能の活性化を図る。	県民一般	常時	運営費で対応
施設・設備の提供	県民に生涯学習センターの施設・設備を提供し、生涯学習を支援する。	関係機関 県民一般	常時	運営費で対応

5 科学教育の推進

事業名	主な内容	対象：定員	期間	予算
人と科学の未来館サイピアの運営支援 (指定管理者実施)	プラネタリウム投影 ドーム内イベント（コンサート、記念講演） 企画展示 科学実験教室等 学校学習の受入れ 子ども科学クラブ（天文・科学） 友の会 科学フェスティバル サイエンス・インストラクター パンフレット、チラシ、広報紙	県民一般 県民一般 県民一般 県民一般 小中学校等 会員 会員 県民一般 県民一般 県民一般	年間 年間 年間 休日、夏休み等 随時(平日) 各年間9回 交流会 年1回 会報誌 年4回 夏期養成講座 年2回 随時	46,276千円
JAXAとの連携事業	JAXAとの事業連携に基づき、関係機関、団体や市町村教委等と連携を図り、学校教育及び社会教育支援事業を実施し、宇宙教育の振興を図る。 ○学校教育支援活動：県内2小学校を中心に計画 ○教職員研修支援活動：総合教育センター研修において計画 ○社会教育支援活動：コズミックカレッジ ：宇宙の学校 ：宇宙の学校指導者セミナー ：宇宙教育リーダーセミナー ○パブリックビューイング	県内2小学校 県内教員 県民一般 県民一般 県民一般 県民一般	年4回 年1回 年1回 年4回 年1回 年1回 随時	1,345千円
連携・協働型事業	県教育委員会や県高等学校工業教育協会との連携・協働により、魅力的な事業の誘致、共催実施等を図る。	県民一般	随時	運営費で対応
専門委員会の開催	有識者等による専門委員会を開催し、休日向けの科学教室や平日の学校学習利用、プラネタリウムの運営内容などについて、専門的見地から意見を聴取し、各種施策に反映させる。		年1回	運営費で対応

5 平成28年度事業実績

1 開所20周年を契機に社会教育の可能性を発信

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
地域づくり・人づくり実践発表会	平成29年2月19日	<p>開会行事・センター20周年の歩み・岡山県生涯学習大学証書授与</p> <p>平成28年度「若者が主役！地域まるごと活性化事業」報告会</p> <p>○アトラクション（井原備中神楽保存会小中学生伝承教室）</p> <p>○事業報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たけべ未来塾（たけべおこしプロジェクト・岡山市立建部町公民館） ・あかいわ♡みらいにつなげプロジェクト（あかいわきり♡みらいにつなげプロジェクト・赤磐市立中央公民館） ・津山市子ども食堂応援団（津山市子ども食堂応援団実行委員会・津山市西苫田公民館） ・みんなで考え、今日から始める防災（おかやまバトン実行委員会・玉野市立中央公民館） <p>○「中高生が主役！もんげーおかやま公民館」プロモーションビデオ制作発表</p> <p>家庭教育支援・科学教育支援の取組事例発表</p> <p>○真庭市家庭教育支援チーム</p> <p>○新見市「宇宙の学校」（新見市教育委員会）</p> <p>パネルディスカッション「岡山の社会教育の可能性を考える」</p> <p>ファシリテーター：中山 芳一（岡山大学全学教育・学生支援機構 助教）</p> <p>パネリスト</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤迫 康代（NPO法人子ども達の環境を考えるひこうせん代表理事） 角野 いずみ（津山市北小ひなづる児童クラブ指導員） 重森 しおり（岡山市立中央公民館 社会教育主事） 藤井 裕也（NPO法人山村エンタープライズ代表理事） 岡本 啓（岡山県生涯学習センター所長） 	266名
記念講演会・受講生の集い	平成28年11月20日	<p>岡山県生涯学習大学受講生を対象にした証書授与を行うとともに、記念講演会を開催することで、より多くの方に生涯学習や生涯学習大学開設事業の趣旨をアピールし、本県における生涯学習の普及・啓発を目的に、生涯学習「受講生の集い」を開催した。</p> <p>◆記念講演会 演題「当たり前暮らしを求めて」</p> <p>講師 倉本 聡（脚本家）</p>	587名

2 人材育成

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
生涯学習・社会教育関係職員研修講座 初任者研修	平成28年4月15日	<p>生涯学習・社会教育の推進に必要な基本的な知識の理解・技能の研修を行い、行政職員や生涯学習推進者としての資質向上を図った。また、職員間のネットワークづくりを支援した。</p> <p>◆第1回 ※岡山市新任公民館職員研修と兼ねる。</p> <p>【講義】「基礎から学ぶ生涯学習・社会教育の進め方～入門編～」</p> <p>講師 岡山大学大学院 教授 熊谷 慎之輔</p> <p>【説明】「岡山県の社会教育行政の現状」</p> <p>岡山県教育庁生涯学習課 総括副参事 近藤 孝治</p> <p>【演習】「地域を知る」</p> <p>岡山市立灘崎公民館 社会教育主事 塩瀬 香織</p> <p>岡山市立高松公民館 社会教育主事 近藤 ゆみ</p>	74名
	平成28年5月10日 (県南会場) 平成28年5月25日 (県北会場)	<p>◆第2回 ※岡山市新任公民館職員研修、津山市公民館長研修と兼ねる。</p> <p>【講義・演習】「ひろがり・つながり・そしてがんばりへ」</p> <p>講師 岡山大学全学教育・学生支援機構 助教 中山 芳一</p>	(県南)33名 (県北)19名
生涯学習・社会教育関係職員研修講座 ステップアップ研修	平成28年6月22日	<p>現代的な課題に対応し、日常の業務に役立つ実践的な研修を体系的に行うことで、担当者や生涯学習によるまちづくりの指導者としての力量の向上を図った。</p> <p>◆中央研修</p> <p>【講演】「若者の心に火を灯す～若者の社会参画に向けて～」</p> <p>講師 NPO法人カタリバ カタリ場事業部 マネージングディレクター 今村 亮</p> <p>【講演】「若者の社会参画についての学習プログラム案の作成」</p> <p>講師 NPO法人カタリバ カタリ場事業部 マネージングディレクター 今村 亮</p>	41名

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
	平成28年11月9日	◆地区研修：備前地区 ※第2回備前地区社会教育委員連絡協議会研修会、備前地区社会教育研究協議会第3回研修会と兼ねる。 【講演・演習】「地域の教育力の向上と地域における学校との協働体制」 講師 一般社団法人教育デザイン研究所 代表理事 玉川大学教師教育リサーチセンター 客員教授 吉田 和夫	47名
	平成28年7月21日	◆地区研修：備中地区 ※備中地区社会教育専門講座、備中地区社会教育委員連絡協議会第2回研修会と兼ねる。 【実践発表】「学校と地域の連携・協働について ～横浜市東山田中学校区の事例を中心に～」 講師 NPO法人まちと学校のみらい 代表理事 竹原 和泉 【講話】「これからの地域（岡山県）の連携・協働」 講師 岡山大学大学院 教授 熊谷 愼之輔 【協議】「地域の連携・協働の在り方について」	70名
	平成29年1月20日	◆地区研修：美作地区 ※人づくりまちづくり研修会と兼ねる。 【鼎談】「地域の中で輝く中高生の出番づくり」 講師 NPO法人だっぴ 副代表理事 藤井 裕也 粟井春日歌舞伎保存会 有友 一正 粟井春日歌舞伎保存会 横林 太輝 久世祭りだんじり保存会 会長 仁枝 章	80名
親育ち応援学習リーダースキルアップ講座	平成28年6月14日	県内市町村の社会教育施設職員等を対象に情報発信力を高めることを目的として研修会を実施し、公民館が行う人づくりや地域づくりを支援する。 (内容) 【体験】「アイスブレイク習得」 講師 岡山わらべうたの会 脇本 幸子 ◆フォローアップコース 【講義・演習】「親プロの基礎・基本」 【グループ演習】「ファシリテーターになるう」 ◆レベルアップコース 【情報交換】「親プロのエッセンス」 【グループ演習】「ファシリテーターへアドバイス」 講師 岡山県教育庁生涯学習課員、岡山教育事務所生涯学習課員、津山教育事務所生涯学習課員、県生涯学習センター振興課員、修了生	46名
	平成28年10月6日	【体験】「新しい親プロを体験しよう」 ①子どもはどこで育つの？～開かれた子育て環境～ ②私の子育て、これでいいの？～開かれた子育て関係～ ③夢見る力を育む応援～大人の役割を考えよう～ 講師 岡山大学 全学教育・学生支援機構 助教 中山 芳一 NPO法人 子ども達の環境を考える ひこうせん 代表理事 赤迫 康代 【協議】「新しい親プロを理解しよう」 講師 追加プログラム開発委員、岡山県教育庁生涯学習課員、岡山教育事務所生涯学習課員、津山教育事務所生涯学習課員、県生涯学習センター振興課員	37名
岡山県公民館連合会研修 第1回研修会	平成28年5月20日	実践発表・座談会「公民館がコミュニティデザイン！」 登壇者 福井県福井市社北公民館 田中 典子 広島県大竹市玖波公民館 河内 ひとみ ファシリテーター 岡山市立中央公民館 重森 しおり	56名
第2回研修会	平成28年6月22日	(生涯学習・社会教育関係職員研修講座ステップアップ研修と兼ねる)	41名
第3回研修会	平成28年7月5日	映画「感う～After The Rain～」特別先行試写会 講演 監督 林 弘樹氏	75名
第4回研修会	平成28年8月9日 (県北会場)	演習「人が変わり、地域が変わる！！ 公民館ESD実践」 講師：岡山市立公民館職員 猪原 一道、大原 典子、柏崎 希 (社会教育施設職員等研修と兼ねる)	(県北)30名
	平成28年8月16日 (県南会場)	//	(県南)25名
第5回研修会	平成29年1月26日	公民館「地域のつながりづくり」実証プログラム事業 事業報告会・企画プレゼンテーション大会	55名
第6回研修会	平成29年2月19日	(開所20周年記念事業と兼ねる)	71名
視聴覚ライブラリー 担当者研修会①	平成28年7月7日	第1部「アナログ視聴覚資料活用 ～今、アナログメディアに起こっている事。問題と対処法～」 第2部「地域に残るフィルム、テープの保存とメンテナンス ～現場で使える知識～」 講師：株式会社 東京光音 松信 秀明	8名
視聴覚ライブラリー 担当者研修会②	平成28年12月8日	「見やすい！伝わる！Flier(チラシ)を作ろう」 講師：岡山大学大学院教育学研究科 教授 橋ヶ谷佳正	11名

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
地域づくり人材養成セミナー	生涯学習プランナー養成コース 平成28年6月19日～ 平成28年12月21日 (年8回)	新たな指導者の発掘と育成、仲間作りの促進やネットワークの形成・強化、活動の活性化を目的として、理論学習や活動実践等の研修をとおして、地域づくりに取り組む活動者の育成を図った。 ◆第1回 地域づくりの実践事例を聞く。(公開講座Ⅰ) ◆第2回 地域づくりの際に必要な目線を確認する ◆第3回 地域づくりの仮説を立てる ◆第4回 地域づくりの目標を立てる ◆第5回 地域づくりの計画をつくる ◆第6回 地域づくりの計画を共有する(公開講座Ⅱ) (課外) 計画を実践する ◆第7回 実践をまとめる ◆第8回 実践活動を発表する 講師 NPO法人 岡山NPOセンター 副代表理事 石原 達也 事例発表者 NPO法人たかくら村 理事 和田 優輝	17名
	未来を担う若人育成コース 平成28年6月19日～ 平成28年9月4日 (年10回)	地域活動・ボランティア活動に興味をもつ県内大学生等を対象に、自らの思いを社会の中で実現させる行動力を身につけることを目的として、自主性やリーダーとしての資質を高める実践型研修をとおして、それぞれの地域や学校で活躍する人材を育成した。 ◆第1回 ねらい・概要の説明、コミュニケーションワーク ◆第2回 地域づくり講演会(公開講座Ⅰ) ◆第3回 地域課題を明確化する ◆第4回 事業計画の意義、プランシート作成 ◆第5回 事業プランブラッシュアップ、リスクマネジメント、安全管理 ◆第6回 収支予算書の作成 ◆第7回 イベント準備 ◆第8回 イベント実施 ◆第9回 報告共有ワーク、プレゼンテーション資料作成 ◆第10回 実践発表、修了式(公開講座Ⅱ) 講師 NPO法人 ふれあいサポートちゃていず 代表理事 湊 照代 事例発表者 NPO法人たかくら村 理事 和田 優輝	15名
統括コーディネーター養成講座	平成28年5月31日	学校支援、放課後・土曜日等支援、家庭教育支援等のコーディネーター同士をつなぐ、地域の人材や資源を活用したりしながら、地域課題が解決できる地域の核となる実践的なリーダーを養成した。 ◆第1回 【説明】「おかやま子ども応援事業について」 岡山県教育庁生涯学習課員 【演習】「地域課題の把握 実践テーマの把握」 岡山市立岡山後楽館高等学校 教頭 室 貴由輝 YKG60 共同代表 井辻 美緒 【講義】「統括コーディネーターの役割、求められる資質」 岡山大学大学院教育学研究科 教授 熊谷 愼之輔	44名
	平成28年7月15日	◆第2回 【演習】「グループ別スキルアップ講座」 ○学校・地域とのネットワークづくり ○教育プログラムの開発・企画立案 NPO法人スクール・ネットワーク・アドバイス 理事長 生重 幸恵 井上 尚子	39名
	平成28年8月4日	◆第3回 【講義・シンポジウム】「地域とともにある学校づくり 学校とともにある地域づくり～地域と学校はパートナー～」 浅口市立鴨方東小学校 校長 安田 隆人 美咲町立旭小学校学校支援地域本部 地域コーディネーター 飯田 純子 文部科学省 初等中等教育局参事官付参事官補佐 地方創生コンシェルジュ 廣田 貢	85名
	平成29年3月2日	◆第4回 【実践発表】 【演習】「中学校区の活動を充実させるために」 【講義】「これからの統括コーディネーター」 岡山大学大学院教育学研究科 教授 熊谷 愼之輔	42名

3 地域課題等解決の取組のための調査研究と市町村・公民館支援

事業名	実施期間	内 容 等
統括コーディネーターに関する調査研究	年 間	美咲町と勝央町を訪問し、地域コーディネーターや教育委員会への取材とヒアリングを行った。コーディネート機能や多様な活動、教育委員会とコーディネーターの連携等、統括コーディネーターのあり方についてまとめた「コーディネーター実践事例集」を作成し、各市町村教育委員会、公民館、学校等に配付した。
生涯学習・社会教育よろず相談	年 間	市町村の生涯学習・社会教育計画、各地域に応じた課題、諸事業などについて、大学関係者、県生涯学習センター社会教育主事等が、市町村教育委員会、公民館等に対するコンサルティングを行うことにより、より有効な生涯学習・社会教育推進体制の整備を図った。 ◆5市町村 ◆主な内容 「公民館事業の意義・展開方法」 「統括コーディネーター・地域コーディネーター」 「生涯学習・社会教育の体系的な仕事の整理」

4 学習情報の積極的な発信

事業名	実施期間	内 容 等
ぱるネット岡山の運営と更新	年 間	県内の生涯学習ポータルサイトとして、県内の関係教育機関が、データを入力、活用できるようIDの発行・「利用の仕方」についての研修等を行った。
学習相談	年 間	学習相談員が面談、手紙、電話、ファクシミリ、電子メールで生涯学習に関する相談に応じた。
生涯学習情報の収集・整理	年 間	コンピュータネットワークで提供する「講座・講演情報」「学習施設情報」「視聴覚教材情報」「講師・ボランティア情報」「子ども向け情報」「子育て支援情報」等12分類の情報収集・整理に努めた。「講師・ボランティア情報」「学習プログラム情報」の更新を、県・市町村・各種団体等と連携して行った。
視聴覚コーナーの整備・運営	年 間	郷土に関する映像やアニメーション映画等を提供した。
情報・図書資料の収集・整理	年 間	図書、逐次刊行物、新聞等を収集・整理し学習者に提供した。
催し物案内(情報誌)等の発行	年 間	要覧(1,200部)、情報誌「生涯学習センターだより」(10,000部(6月))、リーフレット等を作成し、関係機関に配付し、センター事業等の紹介をした。
視聴覚教材・機材の整備・貸出	年 間	県内全域にわたる社会教育団体・学校等に対し、視聴覚教材・機材等の貸出をした。また、DVD 43作品を購入・整備し、視聴覚教材の整備に努めた。
視聴覚教育の普及事業	年 間	16ミリ映写機利用セミナーを開催するなど、地域視聴覚ライブラリーや一般への視聴覚教育の普及に努めた。
視聴覚教材広報活動	年 間	視聴覚教材目録を7,000部作成し社会教育団体・学校等へ配付した。また、「岡山県教育時報」等で教材の紹介を行った。
16ミリフィルムデジタル化事業	年 間	昭和29年に岡山県が企画した貴重なフィルム映像「旭川」を新たにデジタルアーカイブし、DVDとして保存し、県内視聴覚ライブラリー等に配付した。

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
生涯学習大学	年 間	<p>県の特性を生かした講座を行うとともに、他の行政機関や民間が行う多様な学習講座を体系化し、学習機会を提供した。</p> <p><主催講座></p> <ul style="list-style-type: none"> ○現代的課題を学ぶコース(3講座) 「地域とデザイン～ローカルからグローバルまで～」岡山県立大学 「生活習慣病について学ぼう」川崎医科大学 「心豊かにいきいきと生きる」くらしき作陽大学 <p>○岡山の特性を学ぶコース(1講座)</p> 「高梁川水紀行」吉備国際大学 <p><連携講座></p> <p>行政機関及び民間等が主催する講座を連携講座として協力いただいた。 講座数822講座</p>	<p>28名</p> <p>44名</p> <p>109名</p> <p>27名</p>
のびのびキャンパス塾	平成28年12月17日	岡山県生涯学習大学の大学院コース「学習指導」修了生が企画運営する講座の支援・指導助言を行い、講座開設者としての資質向上を図った。 「お飾り作り」	9名

5 「学び・交流の場」としての機能充実

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
京山キッズ・ゾーン「京山祭」	平成28年6月5日 平成28年12月11日 平成29年3月18日	隣接する太陽の丘公園、池田動物園と共同で、子ども向けのイベントを行った。 (※6月5日は「大学コンソーシアム岡山」と共催)	3,000名 1,900名 861名
ぱるスマイルDay	平成28年5月21日 ～ 平成29年3月18日 (年6回)	体験活動を中心とした「ぱるチャレンジ」、演奏を中心とした「ぱるコンサート」、映画会を中心とした「ぱるシアター」を行った。	延1,269名
社会教育関係団体交流の拠点	年 間	社会教育関係団体の事業の充実や活動の活性化を図るため、交流室を設置し、団体間の交流を促進した。	
ボランティアの活動支援	年 間	年間活動計画を策定することなどにより、ボランティアの自発的・自主的な取組を支援した。	165名
発表・展示・交流	年 間	展示スペースを42団体(238日)に提供した。	P.15参照
施設・設備の提供	年 間	県民に生涯学習センターの施設・設備を開放したり、貸出をした。	P.15・16参照

6 科学教育の推進

(ア) JAXAとの連携事業

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
学校 教育 支援	授業支援	平成28年5月17日 ◆第1回 【内容】 気象衛星「ひまわり」が捉えた雲の動きや観測された気象情報を基に天気予報や災害予防について学習 講師 JAXA第一宇宙技術部門地球観測研究センター 研究開発員 山地 萌果	110名
		平成29年1月31日 ◆第2回 【内容】 宇宙開発や現在の地球環境について学び、地球環境を守るために自分のできることを考える 講師 JAXA宇宙教育推進室 主事 松原 理	130名
	授業支援	平成28年12月13日 ◆第1回 【内容】 JAXAの社会的な役割、それを実現するために携わる人々の楽しみや喜び、努力の積み重ねなどを学ぶ	93名
		平成29年1月17日 ◆第2回 【内容】 国際宇宙ステーション、ゴミの処理の仕方、地球の温暖化、太陽系の大きさについて学習 講師 JAXA宇宙教育推進室 特任担当役 清水 幸夫	91名
	教員研修支援	平成28年6月24日 (総合教育センター) 【内容】 講演「宇宙と生きもの」 講師 JAXA宇宙科学研究所 准教授 黒谷 明美 ・施設見学 人と科学の未来館サイピア ・講義・演習「宇宙教育推進室の活動紹介」 講師 JAXA宇宙科学研究所 准教授 黒谷 明美 JAXA宇宙教育推進室 室長 桜庭 望 JAXA宇宙教育推進室 主事 小島 彩美	23名
	社会 教育 支援	宇宙教育リーダーセミナー	平成29年1月22日 【内容】 宇宙教育について ・言葉をカタチにしてみよう ・宇宙教育教材に触れてみよう 講師 JAXA宇宙教育センター 主査 渡邊 敦
コズミックカレッジ		平成29年1月29日 【内容】 宇宙服のひみつを探ろう ・宇宙飛行士や宇宙服の話 ・宇宙服のヘルメット、制御パネル、グローブの工作 ・製作したものを身に付けたときの着用体験 講師 立命館大学理工学部 講師 船田 智史	60名
宇宙の学校		平成28年7月3日 第1回 【内容】 ・開校式 ・熱気球 ・ペーパースチロール凧 講師 KU-MA講師 菅 雅人	129名
		平成28年8月28日 第2回 【内容】 ・風見鶏 ・かさ袋ロケット 講師 KU-MA講師 中村 茂	121名
		平成28年12月4日 第3回 【内容】 ・コミュニケーション力をぎたえよう 講師 振興課職員 ・コマ作り ・金星の観察の話 講師 KU-MA理事 並木 道義	96名
平成29年2月5日 第4回 【内容】 ・スポイトロケット ・レポート発表会 ・閉校式 講師 KU-MA理事 稲葉 茂	61名		
平成28年6月11日 12日 指導者セミナー 【内容】 ・「宇宙の学校」の概要 ・宇宙教育教材を使った説明と演習 講師 KU-MA講師 菅 雅人	19名		

(イ) その他の事業

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
パブリックビューイング	平成28年7月7日	◆大西宇宙飛行士搭乗 ソユーズ宇宙船打ち上げ	40名
	平成28年10月30日	◆大西宇宙飛行士地球帰還 (ソユーズ宇宙船着陸)	45名

7 施設設備の利用状況

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(ア) 情報創作棟利用（施設貸出）

(件)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
視聴覚室	14	17	15	20	18	13	21	18	11	11	17	14	189
大研修室	24	23	28	27	22	26	25	26	23	24	28	21	297
洋研修室	13	15	17	17	27	17	19	10	16	15	16	16	198
和研修室	9	11	9	8	11	14	16	11	8	10	9	13	129
ミーティング室1	30	30	34	29	30	30	28	28	25	29	29	22	344
ミーティング室2	28	37	32	29	32	35	33	32	25	26	36	35	380
ミーティング室3	22	24	25	23	25	28	23	26	27	21	26	17	287
ミーティング室4	19	25	27	26	32	27	26	27	29	30	33	24	325
ミーティング室5	19	31	29	27	28	26	21	30	28	27	30	23	319
美術教室	6	14	14	13	12	13	12	17	11	11	13	7	143
木工教室	4	8	9	9	8	10	8	13	9	9	6	4	97
陶芸教室	8	13	15	13	14	10	12	12	8	13	9	8	135
書道教室	14	23	24	21	17	16	18	17	14	17	17	15	213
パソコン教室1	1	1	3	6	4	5	4	1	3	3	3	0	34
パソコン教室2	5	4	12	12	8	8	8	8	7	6	10	1	89
ボランティア室	26	24	22	23	27	29	21	24	26	25	28	20	295
録音録音スタジオ	3	2	3	8	1	3	2	10	3	3	3	0	41
試写室	11	14	14	10	17	12	8	13	9	7	11	12	138
編集室	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3

(イ) 交流棟利用（施設貸出）

(日)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
交流棟展示スペース	6	26	27	27	27	15	24	17	24	21	23	1	238

(ウ) 人と科学の未来館サイピア利用（施設貸出）

(件)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サイエンスドーム	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
科学体験・学習広場	1	8	14	13	5	13	40	16	4	2	4	4	124
企画展示室	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
プロデュースセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(エ) 人と科学の未来館サイピア利用（施設入館等）

(人)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サイピア入館者数	8,892	11,336	11,071	12,838	18,940	9,240	11,230	8,056	8,019	6,995	7,227	9,117	122,961
サイエンスドーム観覧者数	1,907	2,853	2,457	4,165	5,793	3,284	4,091	2,358	1,454	1,975	2,133	3,056	35,526

8 生涯学習情報提供システム（ぱるネット岡山）

(ア) データ保有数

(平成29年3月31日現在)

種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数
講座・講演	96,443	団体・グループ	2,854	講師・ボランティア	687	視聴覚教材	6,355
施設・文化財	3,816	資 格	1,011	学習相談窓口	125	学習プログラム	1,105
学習相談事例	97	合 計				112,493	

(イ) 利用状況

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数
講座・講演	13,488	団体・グループ	933	講師・ボランティア	3,438	視聴覚教材	7,161
施設・文化財	2,201	資 格	455	学習相談窓口	142	学習プログラム	552
学習相談事例	204	合 計				28,574	

9 学習相談件数

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数	合 計
講座・講師	52	施設・設備	271	図書	88	651
視聴覚視聴	90	視聴覚教材	46	その他	104	

10 視聴覚コーナー

(ア) ソフト保有本数 (DVD)

(平成29年3月31日現在)

種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数	合 計
郷土	24	アニメ	215	洋画	115	950
邦画	124	教養	87	その他	385	

(イ) 利用状況

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

種 別	DVD教材	CD・ビデオ	合 計
回 数	2,538	2	2,540

11 視聴覚教材コーナー

(ア) 保有本数

(平成29年3月31日現在)

16ミリ映画	ビデオ教材	DVD・BD教材	合 計
2,298	3,263	1,039	6,600

(イ) 貸出状況

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用本数(本)	DVD・BD教材	52	49	93	124	147	43	76	75	82	74	76	41	932
	ビデオ教材	7	6	14	11	8	9	23	3	14	6	6	4	111
	16ミリ映画	0	0	3	3	3	0	0	3	0	0	0	0	12
	計	59	55	110	138	158	52	99	81	96	80	82	45	1,055
閲覧者数(人)	DVD・BD教材	3,391	3,285	9,044	8,874	5,704	4,044	7,120	8,384	9,997	3,911	7,245	3,510	74,509
	ビデオ教材	3,151	717	1,883	439	303	1,070	2,749	544	1,191	990	412	574	14,023
	16ミリ映画	0	0	15	450	60	0	0	750	0	0	0	0	1,275
	計	6,542	4,002	10,942	9,763	6,067	5,114	9,869	9,678	11,188	4,901	7,657	4,084	89,807

12 図書・ブラウジングコーナー

図書所蔵冊数

(平成29年3月31日現在)

区 分	冊 数	区 分	冊 数	区 分	冊 数	区 分	冊 数
一般図書	20,000	生涯学習関連資料	7,050	購入雑誌	187冊	購入新聞	6紙
(うち鳥城高等学校図書)	8,000						

6 関係条例及び規則

岡山県生涯学習センター条例

〔平成8年12月24日〕
岡山県条例第39号

(目的及び設置)

第1条 県民の生涯にわたる学習活動（次条において「生涯学習」という。）の振興を図るため、岡山県生涯学習センター（以下「センター」という。）を岡山市に設置する。

(業務)

第2条 センターは、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 生涯学習指導者の養成及び生涯学習関係者の研修
- (2) 生涯学習に関する情報の収集及び提供並びに生涯学習相談
- (3) 生涯学習に関する講座の開設
- (4) 生涯学習に関する調査及び研究
- (5) 科学に関する学習の機会の提供
- (6) センターの施設及び設備（以下「施設等」という。）の提供
- (7) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的の達成に必要な業務

(開所時間及び休所日)

第3条 センターの開所時間及び休所日は、教育委員会規則で定める。

(指定管理者による管理)

第4条 センターの管理に関する業務のうち次条に規定する業務は、第13条第1項の規定により岡山県教育委員会（以下「教育委員会」という。）が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第5条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 施設等の維持管理に関すること。
- (2) 施設等の利用の許可に関すること。
- (3) 施設等の提供に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、センターの運営に関し教育委員会が必要と認める業務

(利用等の許可)

第6条 センターにおいて次に掲げる行為をしようとする者は、教育委員会規則で定めるところにより、指定管理者の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

- (1) 別表の1から3までに掲げる施設等の利用
 - (2) サイエンスドームにおける天体運行等の投影の観覧
- 2 指定管理者は、センターの管理上必要な範囲内で前項の許可に条件を付することができる。
- 3 指定管理者が別に定める観覧券により観覧しようとする者については、第1項第2号の観覧に係る許可を受けたものとみなす。

(入所の制限等)

第7条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、センターへの入所を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) 公共の秩序を乱し、又は善良の風俗を害するおそれがある者
- (2) 施設等を損傷するおそれがある者
- (3) 施設等の利用が、集団的に又は常習的に暴力的不法行為等を行うことを助長するおそれがある団体の利益になると認める者
- (4) その他センターの管理上支障があると認める者

(許可の取消し等)

第8条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、第6条第1項の許可を取り消し、若しくはその条件を変更し、又は行為の中止、原状回復若しくはセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) この条例若しくはこの条例に基づく教育委員会規則又はこれらの規定に基づく処分に違反している者
 - (2) 偽りその他不正な手段により第6条第1項の許可を受けた者
 - (3) 第6条第2項の条件に違反している者
- 2 指定管理者は、施設等に関する工事のためその他公益上やむを得ない必要が生じたときは、第6条第1項の許可を受けた者（次条において「利用者」という。）に対して、同項の許可を取り消し、又はその条件を変更することができる。

(利用料金)

第9条 第6条第1項の許可を受けた行為に係る料金（以下この条において「利用料金」という。）は、指定管理者にその収入として収受させる。

- 2 利用料金は、別表に掲げる基準額に0.5を乗じて得た額から当該基準額に1.5を乗じて得た額までの範囲内の額で指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。
- 3 利用者は、指定管理者に利用料金を前納しなければならない。ただし、指定管理者が別に納期を定めたときは、この限りでない。
- 4 指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ知事の承認を受け、利用料金を減免することができる。
- 5 納付した利用料金は、返還しない。ただし、利用者の責めに帰することができない理由により許可を受けた施設等を利用することができなくなったときその他指定管理者が相当の理由があると認めるときは、この限りでない。

(職員)

第10条 センターに、所長その他必要な職員を置く。

(指定管理者の公募)

第11条 教育委員会は、指定管理者の指定をしようとするときは、教育委員会規則で定めるところにより、当該指定を受けようとするものを公募するものとする。ただし、特別の理由がある場合は、この限りでない。

(指定管理者の指定の申請)

第12条 指定管理者の指定を受けようとするものは、センターの管理に係る事業計画書その他教育委員会規則で定める書類を添えて、教育委員会に申請しなければならない。

(指定管理者の指定)

第13条 教育委員会は、次の各号のいずれにも該当するもののうちから最も適当と認めるものを指定管理者として指定するものとする。

- (1) 事業計画の内容が住民の平等な利用を確保することができるものであること。
- (2) 事業計画の内容がセンターの機能を最大限に発揮させるとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (3) 事業計画に沿った管理を安定して行うことができるものであること。
- (4) その他センターの業務を効果的に行うため教育委員会が必要と認める基準に適合するものであること。

2 教育委員会は、前項の規定による指定をしたときは、その旨を告示するものとする。

(事業報告書の提出)

第14条 指定管理者は、教育委員会規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、教育委員会に提出しなければならない。

(業務報告等)

第15条 教育委員会は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対して、当該管理の業務又は経理の状況に関し報告を求め、実地について調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定の取消し等)

第16条 教育委員会は、指定管理者が前条の指示に従わないときその他当該指定管理者による管理を継続することが適当でないと認めるときは、その指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ずることができる。

2 教育委員会は、前項の規定による指定の取消しをしたときは、その旨を告示するものとする。

(教育委員会規則への委任)

第17条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、平成9年1月1日から施行する。

(中略)

附 則

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

岡山県生涯学習センター条例別表（第6条、第9条関係）

- | | |
|---------------------------------------|--------|
| 1 施設（情報創作棟施設、人と科学の未来館サイピア施設） | } (表略) |
| 2 冷暖房設備（情報創作棟冷暖房設備、人と科学の未来館サイピア冷暖房設備） | |
| 3 設備金額（液晶プロジェクター等） | |
| 4 観覧料（人と科学の未来館サイピア観覧料） | |

岡山県生涯学習センター条例施行規則

〔平成8年12月24日
岡山県教育委員会規則第19号〕

(趣 旨)

第1条 この規則は、岡山県生涯学習センター条例(平成8年岡山県条例第39号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開 所 時 間)

第2条 岡山県生涯学習センター(以下「センター」という。)の開所時間は、次のとおりとする。

区 分		開所時間
児童遊園地		午前9時から午後5時まで
その他の区域	火曜日から土曜日まで(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)を除く。)	午前9時から午後9時まで
	日曜日及び休日	午前9時から午後5時まで

2 前項の規定にかかわらず、岡山県教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、必要があると認めるときは、開所時間を臨時に変更することができる。この場合においては、あらかじめその旨をセンターの掲示板に公示するものとする。

(休 所 日)

第3条 センターの休所日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(その日が休日に当たるときを除く)
- (2) 休日の翌日(その日が休日でない火曜日から金曜日までに当たるときに限る。)
- (3) 12月28日から翌年の1月4日まで

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会は、必要があると認めるときは、休所日に開所し、又は臨時に休所日を定めることができる。この場合においては、あらかじめその旨をセンターの掲示板に公示するものとする。

(天体運行等の投影の回数等)

第4条 サイエンスドームにおける天体運行等の投影の回数及び開始時刻は、指定管理者(条例第4条に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)が教育委員会の承認を受けて定めるものとする。

(利用の許可の申請)

第5条 条例第六条第一項の規定により、条例別表に掲げる施設若しくは設備(以下「施設等」という。)の利用の許可又は許可を受けた事項の変更の許可を受けようとする者は、指定管理者が教育委員会の承認を受けて定める申請書を指定管理者に提出しなければならない。

(利用者等の遵守事項)

第6条 条例第六条第一項の許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。利用者の行う行事等のために入所する者も、同様とする。

- (1) 利用の許可を受けた施設以外の施設に立ち入らないこと。
- (2) 利用の許可を受けた設備以外の設備を利用しないこと。
- (3) 火災、盗難等の事故の発生予防に留意すること。
- (4) センターの職員又は指定管理者の指示に従うこと。
- (5) その他教育委員会又は指定管理者が必要と認める事項

(損壊の届出等)

第7条 利用者は、施設等を損壊し、又は滅失したときは、直ちに教育委員会又は指定管理者に届け出てその指示に従わなければならない。

(利用の終了の届出)

第8条 利用者(条例第6条第1項第2号の観覧に係る許可を受けた者を除く。)は、施設等の利用を終了したときは、速やかに指定管理者に届け出なければならない。

(視聴覚教材等の貸し出し)

第9条 視聴覚教材及び視聴覚機材の貸し出しは、生涯学習の目的のために利用する場合に限り、行うものとする。

2 前項の貸し出しを受けようとする者は、指定管理者が教育委員会の承認を受けて定める申請書を指定管理者に提出しなければならない。

(そ の 他)

第10条 この規則に定めるもののほか、センターの管理及び運営に関し必要な事項は、教育委員会、所長又は教育委員会の承認を受けて指定管理者が別に定める。

附 則

この規則は、平成9年1月1日から施行する。

(中略)

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

施設等利用料金表

<情報創作棟施設・設備利用>

(単位：円)

区分 施設・設備等 (定員・面積・階)				9:00～ 12:00	13:00～ 17:00	18:00～ 21:00	9:00～ 17:00	13:00～ 21:00	9:00～ 21:00	冷房 (1時間当)	暖房 (1時間当)	
視聴覚室	72人	261㎡	1F	5,400	7,200	5,400	14,300	14,300	21,500	630	530	
大研修室	150人	261㎡	2F	5,000	6,700	5,000	13,400	13,400	20,100	630	530	
洋研修室	12人	33㎡	3F	800	1,100	800	2,200	2,200	3,300	80	60	
和研修室	8畳	33㎡	3F	600	800	600	1,600	1,600	2,400	80	60	
ミーティング室①	18人	28㎡	2F	600	800	600	1,600	1,600	2,300	70	50	
ミーティング室②	12人	22㎡	2F	500	600	500	1,200	1,200	1,800	50	40	
ミーティング室③	18人	28㎡	2F	600	800	600	1,600	1,600	2,300	70	50	
ミーティング室④	18人	40㎡	4F	700	1,000	700	1,900	1,900	2,900	90	80	
ミーティング室⑤	26人	58㎡	5F	1,000	1,400	1,000	2,800	2,800	4,200	130	110	
美術教室	35人	80㎡	3F	2,800	3,700	2,800	7,500	7,500	11,200	390	310	
木工教室	8人	39㎡	3F	900	1,200	900	2,500	2,500	3,700	90	70	
陶芸教室	24人	39㎡	3F	800	1,000	800	2,100	2,100	3,100	90	70	
書道教室	32人	66㎡	3F	1,200	1,600	1,200	3,200	3,200	4,700	150	130	
パソコン教室①	40人	116㎡	4F	7,100	9,500	7,100	18,900	18,900	28,400	270	220	
パソコン教室②	20人	66㎡	4F	3,000	4,000	3,000	8,000	8,000	11,900	150	130	
ボランティア室	18人	40㎡	4F	700	1,000	700	1,900	1,900	2,900	90	80	
録画・録音 スタジオ	-	116㎡	5F	録画	4,500	6,000	4,500	11,800	11,800	17,900	270	220
				録音	2,500	3,300	2,500	6,600	6,600	9,900	270	220
試写室	18人	66㎡	5F	1,400	1,800	1,400	3,600	3,600	5,500	150	130	
編集室	-	21㎡	5F	600	700	600	1,500	1,500	2,300	50	40	
放送設備				一式1時間につき 380円 (交流棟に保管しているもの)								
資料提示装置				一式1時間につき 140円 (大研修室)								
液晶プロジェクター				一式1時間につき 230円 (大研修室)								
茶道具				一式1時間につき 690円 (和研修室)								
ピアノ				一式1時間につき 990円 (録画・録音スタジオ)								
陶芸窯				一台1時間につき 900円								

<人と科学の未来館サイピア施設利用>

区分 施設・設備等 (定員・面積・階)				9:00～ 12:00	13:00～ 17:00	18:00～ 21:00	9:00～ 17:00	13:00～ 21:00	9:00～ 21:00	冷房 (1時間当)	暖房 (1時間当)	
サイエンス ドーム	132席	176㎡	2F	投影装置を使用する場合	49,600	66,100	49,600	132,200	132,200	198,400	1,170	1,100
				投影装置を使用しない場合	8,600	11,500	8,600	23,000	23,000	34,500	1,170	1,100
科学体験・学習広場	-	237㎡	1F	5,600	7,500	5,600	15,000	15,000	22,500	410	310	
企画展示室	-	101㎡	2F	2,100	2,700	2,100	5,500	5,500	8,200	170	130	
プロデュースセンター	-	70㎡	1F	1,700	2,200	1,700	4,500	4,500	6,700	120	100	

※12:00～13:00及び17:00～18:00の使用料の額は13:00～17:00の使用料額の1/4の額とする。(10円未満切り上げ)

※1時間未満の時間は1時間として計算する。

冷房期間：6月1日～9月30日、暖房期間：12月1日～3月31日

特例期間：上記冷暖房期間の前後2週間程度(工事などのため、冷暖房の利用ができない場合がある。)

<人と科学の未来館サイピア観覧料>(1人1回につき)

区分	観覧料	割引料金
一般(65歳未満)	520	470
一般(65歳以上)	310	260
高校生	300	240
小学生・中学生	100	80
小学生未満	無料	無料

※友の会会員は年度内無料、団体利用(30名以上)及びももっカード利用による観覧の場合は割引料金を適用する。ただし、特別投影及びイベント等を除く。